

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【公開番号】特開2008-94622(P2008-94622A)

【公開日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-016

【出願番号】特願2007-234384(P2007-234384)

【国際特許分類】

B 6 5 H	75/02	(2006.01)
B 6 5 H	75/14	(2006.01)
C 0 9 J	5/00	(2006.01)
C 0 9 J	7/00	(2006.01)
C 0 9 J	11/00	(2006.01)
C 0 9 J	201/00	(2006.01)
B 6 5 H	23/182	(2006.01)
C 0 9 J	9/02	(2006.01)

【F I】

B 6 5 H	75/02	E
B 6 5 H	75/14	A
C 0 9 J	5/00	
C 0 9 J	7/00	
C 0 9 J	11/00	
C 0 9 J	201/00	
B 6 5 H	23/182	Z
C 0 9 J	9/02	

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月12日(2010.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

特に、リールを巻取軸に装着した後、接着フィルムを引き出す際に、リールの巻芯部分において接着剤のはみ出しが生じていた。

また、このような長尺のフィルムを引き出す際には、フィルムが滑ることにより、巻巣又は巻ずれが発生するという問題もある。

このような問題に対しては、従来、以下のような種々の提案がなされているが、更なる改良が望まれている。

【特許文献1】実開平2-142770号公報

【特許文献2】特開平8-310735号公報

【特許文献3】特開2001-39631号公報

【特許文献4】特開2006-44838号公報

【特許文献5】特開2004-43148号公報